

令和 6 年度西神吉小学校 学校評価

学校教育目標 「自ら学び続け、人や自然を大切にする心豊かな子の育成」
 ―自らを見つめ、共に支え合い、より良く伸びる西神吉っ子―

家庭や地域と連携・協力しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体という「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育み、人間性豊かな児童の育成に努めます。

そのために、児童が普段の学校生活や自然体験活動、社会体験活動を通して、自らを見つめ、共に生きる心を育もうとする態度を養うとともに、思考力・判断力・表現力の基礎を培います。

さらに、児童の主体的・協同的学習の充実を図りながら、ねばり強く最後までやりぬく実践「いのちと人権」を大切にする心情や態度を育てます。

重点指導項目	達成	成果と課題（自己評価）	改善の方策（自己評価）	関係者評価
① 確かな学力	B	○個に応じた指導をチームで行い、基礎・基本（読み書き計算）の力がついた。 ▲読書離れが進み、家庭学習の習慣が身につけていない児童がいる。学ぶ楽しさを知り、学びに向かう力を高めたい。	・問題解決型学習、端末を活用した授業、学び方を身につける活動を工夫して学びに向かう力を高める。 ・図書館や関係機関と連携した取り組みで読書活動を推進する。	★本に親しむために、学習マンガや図鑑、絵や図、写真の多い本を揃えて興味を引き出してはどうか。
② 豊かな心	A	○特別活動や全校縦割り活動、異学年交流で温かい人間関係作りに取り組んだ。 ○児童会活動、委員会活動で「ありがとう」や「あいさつ」を自分から言う児童が増えた。	・全校縦割り活動、異学年交流など自己肯定感を育む教育活動を推進する。 ・道徳科、人権教育を核に教育全体で助け合いや思いやりの心を育む。	★高学年になると挨拶ができない子が増える。低学年は素直に挨拶してくれる。自分から挨拶できる子が増えてほしい。
③ 健やかな体	B	○朝ごはんをしっかり食べ、元気に生活できている子が多い。タブレットで『今日の気持ち』を自己評価する活動も行った。 ▲ゲームや SNS を長時間（4 時間以上）している児童がいる。	・発達段階に応じた食育、性教育、体育科の学習で継続した健康運動習慣づくりを推進する。 ・ゲームや SNS の使い方等について児童と保護者が学ぶ機会をつくる。	★運動会やマラソン記録会など学校行事を見ると精一杯運動する子の姿がある。
④ 安全安心な学校	B	○ほとんどの児童がいじめは絶対にはしていないと思っている。 ○交通マナーを守り安全に生活する意識が高まっている。 ▲困ったときに助けを求めにくい児童がいる。 ▲相手の気持ちを想像したり、自分の思いを表現したりすることが苦手な児童がいる。	・温かい人間関係を育む学校学級づくりを進め、アセス・心の相談アンケートを活用していじめの未然防止・早期発見・早期対応につなげる。 ・教育相談・懇談会等を活用して家庭との連携協力を強化する。	★PTA・地域の見守りや情報共有が積極的に行われ、地域では気になる場所への見まわりや児童の見守りなどを進めている。 ★教育相談や保護者会などを実施することも必要ではないか。
⑤ 開かれた学校	A	○ゲストティーチャーや地域の方と学習する教育活動を積極的に実施できた。 1 年昔遊び 2 年町探検 3 年綿の学習 4 年福祉学習 5 年食材学習 6 年命の学習 ○学校行事・参観日等、計画通り実施できた。	・ホームページや便りなどで情報発信を積極的に行う。 ・保護者・地域と連携した教育活動を工夫して実施する。	★今後も地域行事へも積極的に参加することで、地域・学校・家庭の絆を深めてほしい。